

総務民生常任委員会所管事務調査中間報告書

令和3年2月

はじめに

本町には交通機関としてバス、タクシー、公共交通空白地有償運送、福祉有償運送等があるが、住民の主な移動手段は自家用車である。しかしながら本町の高齢化は進み、免許の返納等により移動に不便を感じる住民が増えてきている。将来を不安視する住民の声が多数あることから、当委員会としては町内のたくさんある課題の中でも最重要課題として、今回移動手段について調査研究することとした。

調査の経過

- ・ 令和2年3月18日（水）午後1時30分～
 - ◎ 移動手段の問題点について
（場所：能勢町役場南館 議員研修室）
能勢町の移動手段として、どのようなものがあるかの洗い出しを行った。

- ・ 令和2年6月23日（火）午前9時30分～11時30分
 - ◎ 能勢町の地域交通の現状について
（場所：能勢町役場議場）
能勢町の地域交通の現状について調査を行った。（資料①）

- ・ 令和2年11月19日（木）午後2時～3時
 - ◎ 公共交通空白地有償運送、福祉有償運送について
（場所：株式会社 ホンダ）
公共交通空白地有償運送、福祉有償運送を行っている事業者（のせ田里能）に事業の現状について聴き取りを行った。（資料②）

- ・ 令和2年11月19日（木）午後3時30分～5時
 - ◎ 公共交通空白地有償運送について
（場所：能勢町社会福祉協議会）
公共交通空白地有償運送を行っている事業者（ふれあい号）に聴き取りを行った。（資料②）

- ・ 令和2年12月17日（木）午前9時30分～10時35分
 - ◎ 公共交通空白地有償運送について
（場所：能勢町役場議場）
公共交通空白地有償運送を行っている事業者からの聴き取りについて、調査を行った。
今後の方向性について議論した。

- ・ 令和3年1月22日（金）午前9時30分～10時
 - ◎ 新しい地域交通システムについて
（場所：能勢町役場議場）
12月18日の総務民生常任委員会で提案のあった新しい地域交通システムの具体例について
国土交通省、池田市、猪名川町、太子町の資料を集めて調査を行った。

まとめ

調査項目を設定して以降、調査・議論を行い、これまで一定の現状把握等を行った。各委員からは次のような意見があった。

- ・ 路線バスが運行していない地域を、どのように補完していくのかが大事。
- ・ ICTを活用した効率的な交通体系をつくっていけば、今までより柔軟に対応できるのではないか。
- ・ 基幹交通は現行の予算で別の方法を考えるべきではないか。現在の地域交通では、住民のニーズに答えられていない。方向を変えていく必要があるのではないか。
- ・ M a a s の導入が必要となってくるのでは。町全体として能勢町地域公共交通会議があり、それと平行して住民の意見を聞き、各地域へ導入に向けた対応を提案していくことが必要ではないか。
- ・ 具体的に地域別の対応を検討する必要がある。どういうことをどこまでできるのか、費用・人力的な面を含め能勢にあった仕組みをつくるために、もっと検討時間をつくり対応していく必要がある。
- ・ 方向的にはマースの仕組みが必然になってくる。ICTを含めた環境をどこがどのような形で担うのかが問題。路線バスが今までと変わらずある前提で話し合っていたが、リセットし考えていかないといけない。

当委員会としては、国と能勢町地域公共交通会議の動向を注視し、適宜委員会を開催し継続して調査・審議を行うこととした。